

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

研究機関名： 弘前大学医学部附属病院 看護部
(感染制御センター)

研究責任者： 尾崎 浩美

当院では患者さんの試料・情報を利用させていただき、下記の臨床研究を弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない患者さんは、下記連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

臨床研究名称 入院棟東 2 階病棟における MRSA 院内集団発生の解析に関する研究

研究の目的

当院では、病棟におけるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA：Methicillin-Resistant *Staphylococcus aureus*）や緑膿菌の集団発生が年数回見られています。その度に様々な評価を行い病棟への指導を実施してきました。その結果、大体 1 カ月程度で集団発生は収束できています。

今回、2024 年 9 月から 10 月にかけて、これまで MRSA 検出がほとんどなかった入院棟東 2 階病棟で集団発生が起きました。この解析を行うことで、感染対策における課題をあぶり出し、今後集団発生をさせない並びに集団発生時の的確な感染制御を行う院内体制の構築を行っていく予定です。

研究実施期間 実施許可日 ～ 2026 年 3 月 31 日

対象となる方 2024 年 2 月 1 日～2024 年 10 月 31 日までの間、弘前大学医学部附属病院入院棟東 2 階病棟に入院された方の中で、MRSA が検出された患者様。

利用させていただきたい試料・情報について

本研究は、当院のカルテと看護記録に記録されている情報のうち、身長、体重、採血データ、感染症情報、年齢、性別、入院日、退院日、重症度、手術内容、ADL（日常生活動作）、リハビリの有無、看護ケア内容、挿入されている点滴や尿道留置バルーン等のデバイス、診療グループ、看護グループ、転帰、合併症、基礎疾患、内服薬、投与薬剤情報を利用します。

また、培養にて検出された MRSA の菌株に対して、POT 法（PCR-based ORF Typing 法）を用いた分子疫学調査を行います。また、要因究明のために当該病棟 30 ヶ所の環境調査を実施します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。患者さん／その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	医学部附属病院 看護部（感染制御センター）尾崎 浩美 TEL 0172-39-5176/mail h.ozaki@hirosaki-u.ac.jp
--------------	--